

熱く語る菊地弁護士

市と庄原警察署は11月23日、消費者一人一人がトラブルから身を守り、日常生活の安全・安心を確保することを目的とした「安全・安心なまちづくり推進大会」を庄原市民会館で開催しました。

防犯組合、暴力追放協議会、交通安全協会、老人クラブ連合会をはじめ、多くの市民の皆さんが参加しました。

大会では「消費者問題の実態」と題して、テレビ「行列のできる法律相談所」でおなじみの菊地幸夫弁護士が講演。菊地弁護士は「高齢者だけでなく、女性や若者を狙った詐欺も多い。そして都会も田舎もない。さみしい心に付け込んでくるので、困ったことがあれば一人で悩まず、消費生活センターなどの専門家に相談を」と参加者にアドバイスを送



敷信母さん劇団の寸劇

りました。

また、敷信母さん劇団による悪質商法の手口に引っかけられる家族をテーマにした寸劇や広島県警察音楽隊の演奏も行われ、大会は大いに盛り上がりました。

市民生活課は、出前トークなどによる啓発活動や、消費生活相談員による契約トラブルなどの消費生活相談の受付も行っています。お気軽にご相談ください。(庄原市消費生活センター ☎0824-73-1228)

市民生活課

自立した消費者を目指して
安全・安心なまちづくり推進大会

農業委員会

市内の女性農業者が集まり
意見交流

女性農業者&女性農業委員懇談会



現状を語り合う女性農業者の皆さん

「庄原市女性農業者&女性農業委員懇談会」を11月30日、庄原市ふれあいセンターで開催しました。

この会は、市内の女性農業者同士が知り合ったり意見交換したりする場が少なくなっている現状を何とかしたいと、女性農業委員4人が企画。女性農業者の現状を知り、農業施策に反映させることもねらいとしたもので、今回初めて開催されました。

女性農業者20人と農業委員会や各関係機関などを合わせた約30人が参加し、終始和やかな雰囲気の中、参加者が持ち寄った手づくりの菓

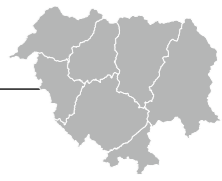
高齢者・妊婦優先駐車場を
夜間通用口付近に設置しましたので
ご利用ください。



総務課行政係 ☎0824-73-1123

子などを味わいながら、それぞれの農業体験や農業に対する思いなどを話し合いました。

参加者からは「農業委員会というところと感じていたが、この会に参加してイメージが変わった。またこういう場を設定してほしい」という声も上がり、会を進行した農業委員の道下和子さんは「女性農業者の皆さんにもっと声を出していただくため、こういった小さな会を今後も続けていきたい」と力を込め話していました。



● 次回の予定

日時および場所	対象
2月22日(火)13:30~15:00 庄原市保健センター	平成22年7月・8月・9月 生まれの子どもを持つ保護者

※対象者には個別に通知します。 ※申し込みが必要です。



僕らも交流中



保健医療課

心の健康をみんなでも考える
「こころいきいきフェスタin庄原」が開催

心の健康について考える「こころいきいきフェスタin庄原」を10月30日、庄原市ふれあいセンターで開催し、240人が参加しました。

当日は、川村妙慶さんが「心がほつこりする話」心の豊かさを求めて」と題し講演。

また、県や社会福祉協議会と制作した、自殺予防がテーマの寸劇「生きていくってしんどいねえ」をスマイル一座が演じ、うつ・自殺予防を市民の皆さんと一緒に考えました。



スマイル一座の寸劇の一場面

講演を聞いた参加者からは「気持ちが楽になった」、「寸劇では「周囲のあなたが自分を救ってくれていたことに気づいた」など多くの感想や真剣な思いが寄せられ、「今後このような学習会を開催してほしい」との声も上がりました。

このほか、心の健康チェックコー

総務課

災害に強いまちを目指して
防災パトロール車が寄贈

市役所市民広場で11月12日、防災パトロール車の納車式が行われました。

7月16日の豪雨災害をうけて、庄原・東城ロータリークラブが加盟する「国際ロータリー第2710地区」から災害見舞金と防災パトロール車が市へ寄贈されました。車は、5人乗り2400ccの4輪駆動で黄色灯と拡声器を備えています。



寄贈された防災パトロール車

同地区の山下俊明副代表幹事は「緊急時や防災の広報に活用してほしい」とあいさつ。滝口季彦市長は「災害時に機動力が高まる。しっかりと活用したい」と話していました。

今後、災害などの緊急時に迅速な対応ができるよう、さらに努めていきます。

性児童課

人と人とのよりよい関係を
庄原格致高校でデートDV講座

庄原格致高等学校の3年生約120人を対象に11月16日、「デートDV防止講座」を同校で開催しました。

冒頭、ビデオを使ってDVの解説の後、講師の財団法人広島県女性会議主任相談員の坂本てるみさんが、相談事例を基にした高校生カップルを例に上げ、「メールをすぐ返さない」と怒られる「アドレスを勝手に



語りかける坂本てるみさん

に消される」「友だちよりも彼を優先させる」などの出来事を取り上げて、そのときの交際相手の気持ちはどうなのか、デートDVとはどのような関係なのかなどを一つずつ解説。

坂本さんは「嫉妬するのは、人として自然な気持ち。でも、相手を自分の思いどおりにしようとするのは、愛情ではないことに気付いてほしい。もし、友だちから相談を受けたら、その子のつらい気持ちをしっかりと聴いてあげてください」と話していました。

生徒はアンケートに「悪気がなくてもデートDVになることがあると知り、自分も相手にしていないかドキドキした」「一緒にいてお互いが安心できる関係を築きたい」などと感想を寄せていました。

※デートDVとは、恋人から受ける身体的、精神的、経済的、性的暴力のことをいいます。

保健医療課

調理実習を通して学習と交流
離乳食教室

離乳食教室を11月30日、庄原市保健センターで行い、母子10組の参加がありました。

この教室は、離乳食(中期)の調理実習を通して離乳食時期の「ごっこ・もぐもぐ・かみかみ・ぱくぱく」が出来る子どもを育てることの大切さを学習します。

当日は、調理実習を通してお母さん同士が楽しく情報交換し、とても和やかな雰囲気の中となりました。今後も不定期に開催していきます。

ので、ぜひご参加ください。子連れでの参加が不安という方は、お母さんが調理実習をされている間、ボランティアの方とスタッフでしっかり子どもをみますので、安心してご参加ください。また、「イクメン」を目指すお父さんとの参加も大歓迎です！詳しくは、保健医療課健康推進係(80824731255)まで。

企画課

研究の成果から
今後の活用法に期待
庄原市県立広島大学研究開発助成事業報告会

市が助成し県立広島大学が取り組んだ研究成果を発表する「県大助成事業報告会」を11月29日、庄原市ふれあいセンターで開催しました。

当日は、これまで進めてきた研究のうち、平成21年度で研究期間が満了したものを中心に、各研究者から計6件を報告。事業者や市民など約80人が参加し、米ぬかパン・クッキーの商品化、マツタケ山再生、汚染土壌を無害化する装置(移動式小型)のコア技術の確立など、報告された成果やその活用方法をめぐって、活発な意見交換が行われました。



熱心に聞き入る参加者

今後、研究成果を地域に還元する、事業化していくといった地域活性化につながる取り組みを進めていきます。

総務課

お互いが歩み寄る姿勢を大切に
庄原市人権講演会

庄原市人権講演会を12月3日、市民会館で開催し、約350人が来場しました。

今回は、ジャーナリストの辺真一さんが「心の国際化をめざして」と題して講演。テレビやラジオに多数出演している辺さんですが、「人権講演会といった会場で話すほうが、本当に伝えたいことが伝えられる」と



講演する辺真一さん

いろいろな例を挙げてわかりやすく語り掛けました。

辺さんは「中国、韓国、北朝鮮など、日本人と外見はそっくりでも、文化や習慣など中身は違う。まずは、相手を知ること」と話し、最後に「相手との違いを理解し、お互いが歩みよる姿勢が大事」と呼びかけました。

講演後の来場者アンケートには「違いを理解し合うことの大切さ、国民性の違いの話は大変よかった」など、多くの感想や意見が寄せられています。